



マッチングアプリで

逆3P!



~JKふたりが競い合って俺にベロチュー&乳首責め~



成人向けCG集
基本CG 11枚
本編枚数211枚



岸田 七海 (きしだ ななみ)

163cm

89/57/92(Hカップ)

物腰柔らかな、落ち着きのあるJ●。

渚とは仲が良くて普段は丁寧口調だが、
彼女と喋る時は砕けた口調になる。

好きなエッチは、
激しく膣奥まで突かれるエッチ♡

子宮を押し潰すような勢いで、
おち●ち●でおま●こを
ズンズン突かれるのが大好き♡



島井 渚 (しまい なぎさ)

165cm

93/58/87(Iカップ)

誰とでもすぐに仲良くなれる
明るく、ムードメーカーなJ●。

七海とは仲が良く、
休日はよく彼女を誘って遊びに行きます。

好きなエッチは、キスをしながらのエッチ♡

キスをしながらエッチをすると、
おま●こがより一段とおち●ち●を
締めつけてくれるそうです♡

A 3D-rendered room with a desk, computer, bed, and TV. The room is brightly lit by a large window with yellow curtains. The desk has a computer monitor and keyboard. The bed is covered with a purple blanket. The TV is on a stand in the foreground.

大学生になって数カ月が経過した。

大学に入っただけの頃は
可愛い彼女ができて楽しい大学生活が
送れると思ったけど現実は甘くなかった。

コミュニケーション能力が低く、
入りたいサークルも特にな
い大学がない日はスマホをいじってばかり...

そんなつまらない
日常から抜け出したい……!!

そう思った俺はたまたま見つけた
マッチングアプリを
利用することにした。

マッチングアプリ…
ちよつと緊張するな

でも、最初はアプリを介して
やりとりをするから
コミュ力が低い俺でも利用しやすいな

可愛い彼女を捕まえるため…

まずはプロフィールを
設定っと…


早っ!?
もうイイネ返された

ポン

まあ試しにプロフィールを
イイネしてみるか...

これマジか?

次は相手を検索...ん?
この二人、プロフィールに
女子●生って...



二人の女子○生とマッチングした俺は
その日からメッセージでやりとりを始めた
彼女たちは積極的で
三日後にはデートのお誘いがきた。

こんなに上手くいくものなのか…
そもそも本当に女子○生なのか…
悩んだが、俺は誘いを受けることにした。

嘘かもしれないが
この機会を逃したくはない。

俺は駄目もとで二人の女子○生と
会ってみることにした。

一
カ
月
後

ねえ今日はゲームしようよ

やってみたいゲームが
最近発売されてさ

渚、今日はわたしが
お兄さんと約束してるの

お兄さんはこれからわたしと
映画を観に行くんですよね？

.....

一カ月前にマッチングした二人は
正真正銘の女子○生だった。

二人は同じ学校の友人同士で
一緒にマッチングアプリを始めたそう。
ちなみに同じタイミングで俺と
マッチングしたのは偶然とのこと。



きしだ ななみ
岸田 七海

しまい なぎさ
島井 渚

俺のことを二人は気に入ってくれて
独り暮らしをしている我が家に
よく遊びにきてくれるようになった。

可愛い女子○生が遊びに来てくれるのは
嬉しいことなのだが……
俺を取り合ってよく二人は喧嘩をする。
そして決まって二人が言うのは――

An anime-style illustration of two young women in a living room. The woman on the left has long black hair and green eyes, wearing a yellow cardigan over a school uniform. The woman on the right has short brown hair and blue eyes, wearing a grey cardigan over a school uniform. They are both looking at each other. The background shows a living room with a window, a desk with a computer, and a television.

お兄さんは七海と映画行くより
私とゲームする方がいいよね？

わたしと映画館デートする方が
お兄さんは嬉しいですよ？

...

私

だよ

です

わたし

このようにどちらかを
選ぶよう俺に求めてくることだ。

ちなみに二人は今日「一緒にどちらと
過ごすのかを尋ねているだけではない。
どちらを正式に恋人にするのかを
暗に尋ねているのだ。」

現状、俺は二人と付き合っている。

どちらかをきちんと恋人に
選はないといけないと理解しているが、
未だに俺は選べずにいた。

え、えっと...

もうっ

私を選んでくれたらいいのに...

早く選ばないとお兄さんから
離れて行っちゃうかもよ？

ふふ

わたしはお兄さんが
答えを出すまで待ってます

ちよっ

七海ずるい！



…でも出会ってから一カ月だよ？

そろそろ選んで欲しいねって
七海と相談をして…決めたの

お兄さんがわたしたちを
選びたくなるように
アピールをしようって

アピール？





ふい
ふい
こんなふうにな...

っ!
!?

お兄さん...
ジツとしていてくださいね

ふ、二人とも...何を?

びい

困惑する俺をよそに二人は
俺の服を強引に脱がしていく。

や
チ
エ
チ
...

ズ
〜

そしてー



ふふっ
お兄さん、
どう？

気持ち良い？

乳首をいじられるのも
良いですね？

いっ
ぱい

ふふっ
ふふっ

お兄さんに
選んでもらえるよう…

いっぱい気持ち良いこと
してあげますから♡



俺の服を脱がしだしたと思えば
二人は俺のチ●ポと乳首をいじりだした。

二人のアピールというのはエッチなことー

エロいアピールして
恋人に選んでもらおうと考えたようだ。



はぁはぁ

乳首が硬くなってきました…

気持ち良いんですね？

はぁはぁ
はぁはぁ
はぁはぁ

はぁはぁ
はぁはぁ

もっといっぱい
いじってあげます…それから

こっちを見てください…んちゅっ♡

七海の言葉に従って顔を向けると
彼女の舌が俺の舌に絡んでくる。

ねっとりベロチューをしてきた。

ちゅぽ

トロトロ

ぐわんぱう



くっつく

身体もどんどん熱く…♡

ちゅぽ

くっく
くっ

ちゅちゅ
ちゅちゅ

舌が溶けそうなくらい…熱い

お兄さんとの初めてのキス…

はあ

はあ



七海とのキスで興奮してるの？

おち●ち●が
さっきよりも大きくなってる...

お兄さん...わたしのキス
気に入ってくれたんですね♡

あはあ

んっ

んっ

んっ

おっ

私ともキスしてよっ

七海ばかりズルいし
私のキスだって
気持ち良いんだから！

ちゅぽ

くら

お兄さんこっち見て…ちゅうっ♡





はあ

私のキスも気持ち良いんだね

おち●ち●ビクってした…

ふふ

くり
くり

ぬちゃ

れろお…♡

ぬちゃ

ん
ぐちゃ

フィ

はあ

唾液を舌にまとわせて...

ん
ん

ん
ん

もっと舌を絡めよ...

ん
ん

ん
ん

ん

ん
ん

ん
ん



もつと...もつとお...♡

はあ

はあ

しちゃっ♡

ぎゅっ
ぎゅっ

ゴロっ♡

それに頭の中が
ほわほわして...

グニッ

んっ

グニッ

あ

お兄さんの唾液
美味しい...♡

しちゃっ♡



そこまでっ

いつまでやってるの！
渚ばかりずるいっ

七海だっしてたでしょ？

渚の方が長かった！

すーいっ



もうっ

私だってもっとキスしたいっ

だから…わたしともう一度…



それから二人と
濃厚なベロチューを交互に行った。

七海とベロチューしている時は
渚は手コキに集中して…



乳首とチ●ポを責められ、
そのうえベロチューをされ続けて
あっけなく限界を迎えてしまう。

渚とベロチューしている時は
七海が乳首をいじること集中して…







くっ...

すごい...いっぱい出た...

気持ち良くなっ
てくれたんですね...

はぁ...

はぁ...

ドクドク...



ふふっ

でも…
まだまだおち●ち●は
元気みたい

アピール続けても
大丈夫そうね

ギンギン

はぁはぁ

それなら今度は…

お口で気持ち良くして
あげますね♡



そのまま俺は二人に押し倒された。



どうですか
お兄さん？

気持ち良いですか？

私が舐める方が
気持ち良いよね？

お兄さん

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

くっ

どっちも気持ち良いよ

えー

私の方が気持ち良いでしょ？

や
す
や

や
す
や
ほ

舐めるだけじゃなくて…
こんなこともしてあげるよ？

わたしだって…



んあっ!

うわは

ふふ

おち●ち●
ビクってしたね

じゅる

くっ
くっ

ちゅ
ちゅ

もっとイジってあげますね

おち●ち●も
いっぱい舐めてあげます...

乳首を指で触られながら
チ●ポを舐められる快感は凄まじい。

思わず快感に腰が浮いてしまう。

ちゅぽぽ

お兄さんのおち●ち●
美味しそう…あむっ！

はな

しゅぽぽ

あ、ちよつと！

しゅる

ちゅぽぽ

ちゅぽぽ

ちゅぽぽ



ダメ…

お兄さんのおち●ち●は
わたしの…

お兄さん…
気持ち良いですよね？

あ、ああ…

ぴゅん
ちゅん
♡

ん
きゅん

ぎゅん
ぎゅん

ぎゅん
ぎゅん
ぎゅん



おち●ち●の先から
どんどん我慢汁が溢れて…

んぎょい

お兄さんの匂いが
どんどん強くなってくる

んぎょい

んぎょい

んぎょい

お兄さん…
お兄さん♡

七海の口が亀頭をすっぽり包み込んで舌で優しく舐めたり、甘噛みをしてくる。

口内は温かく、心地良い……
そしてとても刺激的で
いつ射精してもおかしくなかった。



お兄さんのおち●ち●..
私も食べたい..

七海..代わって

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

カ
レ
ー

えっ
だ、駄目え



はあ

お兄さんのおち●ち●
熱くて…硬い…

私の口の中
気持ち良いでしょ？

アッホ

ほら…我慢汁いっぱい出して

グチャグチャ

アッホ

な、渚…
そんなに強く吸っちゃ…

んん

んん

お兄さんのおち●ち●
なんだか震えてますよ？

もしかして
射精しそうですねですか？

ああああ

ぢゅぢゅぢゅ

んんん

んんん

精液…わたしも欲しいです…

んんん

ぢゅぢゅぢゅ

えー

七海はお兄さんのおち●ち●

一番に啜えてたでしょ？

はあ

はあ

こ。ちゅわん♡

ッッ

ッッ

おっ
おっ

精液は私に譲ってよ

うー

嫌…お兄さんの精液欲しいっ

んっ

そう言い争いながらも
二人はチ●ポと乳首を刺激し続ける。



絶え間ない快感に
どちらが精液をいたたくか
結論が出る前に限界がきてしまった。





んっ
すごい…
射精の勢いが凄すぎて…

おち●ち●口から
飛び出しちゃった…

うー
うー

はあ…

ぽっ
ぽっ

はあはあ

お兄さんの精液…

二回目なのに凄い量…

それにまだ…
おち●ち●ビンビン…

お兄さん…
今度はわたしの
おま●ここに…

…ああ

ビビ
ビビ



性的な快楽に俺は抗えずに
七海の求めに応じる。

渚は「私もしたい!」と抗議しているが
既に俺のチ●ポは七海のマ●コに
狙いを定めていた。





七海ったら
抜け駆けばかりして…

渚とも…ちゃんとするから…

…わかった
じゃあ今はチューで我慢する

んぐり

チューっ

んあ…んぢゅっ…

んぢゅ

ギョッ

ギョッ
ギョッ

おち●ち●硬い…

それにお兄さんの手で
おっぱい揉まれるの良いつ

もみ
もみ

お兄さん…わたしのおま●こ…

気持ち良い、ですか？

ギュッ

ぬちゃん

ぬちゃん

もみ
もみ

むにゅ

いゅん
いゅん

気持ち良いよ…

もうずっと…
挿れておきたいくらい…

フェイク

フェイク

フェイク

フェイク

いいよ

いいよ

それはダメッ

次は私のおま●こに
挿れてもらうんだから…

ぬちゃん

ぬちゃん



A graphic featuring three stylized pink hands with white outlines, arranged in a triangular shape. Inside the hands is a pink heart containing the word "LOVE" in white capital letters. The background is a solid light pink color.

わ、わかってるよ…

ん
ん
ッ

ずっとわたしのおま●こに
お兄さんのおち●ち●…

挿れっぱなしでもいいのに…

もうっ

お兄さんは七海のものじゃないんだから：

4.30

54.30

それに渚のおま●こに…

お兄さんもおち●ち●
挿れてみたいでしょ？

ちばあ

くさくさ

いい、いい

うん
な、渚…

おっぱい
おっぱい

ぬい
ぬい

おっぱい

おっぱい

七海のマ●コよりは劣るが
充分に刺激的だった。



舌を絡ませながら空いた手で乳首を
つまむようにしていいじってくる渚。

いい
いい
いい

お兄さん、わたしとエッチ
してるんですから…

渚とお喋りばかりしてないで…

もっとわたしを見てください

わ、悪い…うっ！

ぬちゃり
ぬちゃり

やいし
やいし

デニム

デニム



七海が拗ねたような声で不満を漏らすと
膣内がより一段と引き締まった。

はあ...

おま●こがおち●ち●を
ギュウギュウ締めつけて...

グッ

グッ

グッ

グッ

んん...

お兄さんのおち●ち●が
強く感じられます...

はあ...

お兄さん...もっと激しく...
美波のおま●こ突いてください

おち●ち●

おち●ち●

はあ

七海っ！

んっ！

おち●ち●がおま●こ…
ゾリゾリ引っ掻いてるっ

お兄さんのおち●ち●が
気持ち良いところに擦れてっ

いっしょにっ！

はあ

いっしょにっ！

ドッ！



オハハハ

はあ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

すごい…お兄さんの動きたび…

あん

はあ

イツちやうつ!

あん

オハハハ

ハハハ

オハハハ

ド
ン
ドン



1Pだ1Pだ

いいなあ七海…
凄く気持ち良さそう…

私も早くエッチしたい

もう二人のエッチ見て
おま●こ濡れちゃってるよ

はあ

うんうん

いいいい

いいよ

うん

渚がより激しく舌を絡めてくる。

ねっとりと絡んでくる舌は
先程よりも熱くなっていて
彼女が興奮していることがわかる。

はあ

フェ
70
フェ
70



お兄さん...お兄さんっ!

七海...っ!

あん♡

私ユウッ

あーっ
あーっ

私ユウッ

アッ
アッ

はあ

はあ

アッ

はあ

はあ

私ユウッ

アッ
アッ

おっぱい大好き



は——っ

気持ち…良かった…

お兄さんの精液…
ドクドク入ってくる…

ぐんぐん

は——っ

お兄さん…次は私の番だよね？

早くしようよ



ま、待って…
もう少しこのまま…

だーめっ
我慢して待ってたんだから

もうこれ以上は待てないっ

しゅわ





お兄さん…

今度は私のおま●こで

気持ち良くなってね…♡

渚に求められ、
未だに勃起したままのチ●ポを
今度は渚のマ●コへと挿入した。

この続きは、本編でお楽しみください！！

ふふふふ